

ニュースレター第31号をお届けいたします。今号は樋野先生とスタッフの新田が担当します。

『心温まる真摯な姿』 ～『広々とした風貌』～

樋野興夫（順天堂大学名誉教授、新渡戸稲造記念センター長）

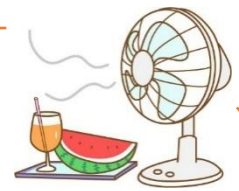


2025年7月26日【お茶の水メディカル・カフェ in お茶の水クリスチャン・センター（OCC）】に出席した。4組（7人）の個人面談の時が与えられた。大変貴重な時となった。『お茶の水メディカル・カフェ in OCC』は『品性のある 強靱で 高貴な心の修練の場』でもある。この度、『OCC ニュースレター第31号』が、企画されることとなった。

第1回『お茶の水（OCC）メディカル・カフェ』は、2012年5月26日（土）にスタートした。継続の大切さを実感する日々である。スタッフの皆様の『心温まる真摯な姿』には、ただただ感服する。

私は、7月28日 羽田空港から デトロイト(Detroit)空港を経由して、娘家族の住むアメリカ合衆国ミシガン州の Grand Rapids 空港に向かった。『長時間の旅』であった。娘が Grand Rapids 空港に迎えに来てくれた。娘の運転でミシガン湖に向かった。Wife は先に訪米しており、ペンシルベニア州に住む wife の姉夫妻も到着されていた。私は、『広々としたミシガン湖 = 風貌』を散策した(添付)。大変有意義な充実した『ミシガン湖の旅』となった。





連日気温が 35℃を超える猛暑です。皆様のご体調はいかがかと、  
ご無理のないようにと祈りつつ、7月のお茶の水メディカル・カフェ in OCC は  
4名の初参加の方もお迎えして開催されました。

難聴で手話通訳を介される方、英語が母語でご家族様が通訳される方のご参加もあり  
ました。初めての方もいつもご参加くださるご常連の方も、がんサバイバーの方も治療  
中の方も、がんかどうか不安を抱えて検査中の方も、ご家族さまも、直接がんとの関係  
がない方も…いろいろなお立場の参加者様がいらっしゃいますが、それぞれの違いはカ  
フェの支障にはなりません。各テーブルの「空っぽの器」が参加者皆様の対話で満たさ  
れていきます。

がん哲学外来カフェが目指すのは「安心・安全な場」です。始めにそのための約束  
をみんなで確認します。

＊がん哲学外来カフェを安心・安全な場にするための約束＊

- ・自分の考えや価値観を相手に押し付けません
- ・相手の意見や考えを否定・非難しないで聞きます
- ・全員が話せるように一人で長く話しません
- ・強引な販売や勧誘はしません
- ・カフェの外での交流は自己責任で行います



言葉にすると当たり前のことばかりですが、参加者全員がこうした気持ちでテー  
ブルを囲むことで、自分のこともお相手のことも大切にしたい対話が生まれるのだと思っ  
ています。

安心・安全の場だからこそ、素直に自分の気持ちを話すことができ聴いてもらう  
ことができる…それぞれ立場や事情が違ってもお互い様で対話が進むのだと思いま  
す。

終了時の分かち合いで、参加者皆様が良い時間を過ごされたことが伝わって来て、  
「また来ます」と言っていただくと、来月も安心・安全の場に対話のための空っぽの  
器をご用意してお待ちしたいと思います。

暑さ厳しき折、くれぐれもご自愛ください。またカフェでお会いできますことを楽  
しみにお待ちしています。

お茶の水がん哲学外来・メディカル・カフェ in OCC スタッフ 新田幸代

